

グループホームほうじょう運営推進会議 報告書

開催日	令和7年5月22日(木)			
開催場所	グループホームほうじょう みやこ村			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	入居者の家族	1名 (欠席)	行政(北栄町福祉課)	1名
	地域住民の代表	2名 (1名欠席)	知見を有する者	1名
事業所 出席者	施設長		管理者	
	グループホーム入居者代表			

<状況報告>

入居者の状況	入居定員18名 入居者18名	
	男性(2名) 女性(16名)	
	要介護1(6名) 要介護2(7名) 要介護3(3名) 要介護4(2名) 要介護5(0名) 平均要介護度(2.05)	
	年齢(平均88.4歳)	(最高101歳)

○介護保険更新申請1名 令和7年5月～介護度2→介護度4

○4/9 誤嚥性肺炎で入院1名→4/21 退院

○4/14～4/16 短期利用

<近況報告>

行事関連(R7,4/1～5/22)

日付	内容
4/1(火)	グループホーム開設記念日(2004年4月1日)ケーキで祝う
4/5(土)～ 4/6(日)	桜ドライブ(天神川土手沿い、伯耆しあわせの里、絵下谷川沿いなど)
4/8(火)	花まつり
4/9(水)	オカリナ演奏
4/12(土)～ 4/13(日)	芝桜ドライブ
4/19(土)	おやつ作り(さくら餅)
4/20(日)	お寿司テイクアウト
4/22(火)	ボランティア
5/4(日)	作品づくり(ちぎり絵、トールペイント)
5/11(日)	おもてなし会

	(老健ご利用者招待、明石焼き、ワインゼリー、フルーツポンチ)
5/15 (木)	読み語り
	県立美術館個別で見学
5/16 (金)	オレンジカフェ「なう」 ・北栄町役場 環境エネルギー課より講義 「北栄町ごみの分け方・減らし方」 ・中国楽器「ニコ」演奏会 2名参加
5/18 (日)	テイクアウト寿司
5/20 (火)	訪問散髪
5/20 (火)	オカリナ演奏

<研修、その他>

(4/1~5/22)

日付	内容
4/1 (月)	法人医師紹介式
4/24 (木)	介護ラダーⅢ 1名参加
4/24 (木)	1人3役を目指して(看護部門)
4/25 (金)	
5/12 (月)	全体会議
5/13 (火) ~5/15 (木)	防災盤操作説明会
5/22 (木)	1人3役を目指して(リハビリ部門)
5/23 (金)	

<事故報告>

(4/1~5/22) 4件

① 発生日時 4月1日(火) 18時20分 年齢89歳 女性 介護度1	
種別	紛失
内容	夕食後、洗面所にて口腔ケアで義歯洗浄をしようとしたら下義歯が入っていないことに気付く。その後、探すが見つからなかった。 (上義歯は痛みあり装着せずであった。)
原因	<ul style="list-style-type: none"> ・4/1の朝の義歯洗浄にて職員が洗浄し義歯を本人に渡した後装着までの確認をしていなかった。 ・4/1の昼食後の義歯洗浄をうがいで済ませて、義歯が装着されていたか確認が出来ていなかった。 ・義歯装着に痛みがあることで上下外して対応することもあり、職員の思い込みから確認を怠ってしまった。

対策	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食の義歯洗浄後は、装着まで傍で確認する。 ・義歯装着時に痛みがある場合は、外して対応を行う。 <p>※4/11 歯科受診、虫歯、歯肉炎あり抜歯する。その後上義歯装着後も痛みなし。</p>
② 発生日時 5月1日(木)0時22分 年齢88歳 女性 介護度1	
種別	転倒
内容	他入居者対応中、居室より「あー。」という声が聞こえ訪室。居室扉前にて膝を曲げた状態で座り込んでいる。
原因	<ul style="list-style-type: none"> ・ズボンを履かずパンツのみを着用し就寝していた。見守りセンサーにて転倒時の映像確認。居室のドア前で立ったままズボンを履こうとしてバランスを崩した。(夜勤者は他入居者の対応中であった) ・普段からベッドサイドや居室テーブル横に立った状態でズボン等の更衣を行う傾向あり。本人の思いも強く、パジャマ更衣もしたりしなかったりと日によって異なる。本人のペースを尊重した生活を送っている。 <p>※夜間せん妄や混乱あり。声かけや介入により混乱やせん妄状態の悪化見られる傾向あり。夜間や混乱時は過度の介入を避け、LIVE映像活用し見守りながら対応している。精神状態により声かけに立腹する事もある。入室時には施錠している事が多い。</p> <p>※精神的な思いから歩行不安定となったり、胸のえらさ等の身体不調を訴える事あり</p>
対策	<p>精神状態の変動著明。本人の思いも強く対応の統一は困難な現状。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の思いを尊重した生活を継続しながら危険が伴わないような環境づくり(夜間ベッドライトの確認等)を行う。都度、本人の精神状態を確認しながら、さり気ない声かけと見守りを行う。 ・精神状態が落ち着いている時に着座での更衣の声かけを行い、定着を試みる。 <p>※せん妄や混乱等の精神状態により同様のリスクが起こる可能性がある事を家人に説明し、理解を得る。</p>
③発生日時 5月11日(土)8時00分 年齢85歳 女性 介護度1	
種別	誤薬
内容	8:00 食前薬(下剤、漢方薬)を重複して与薬した事に気付く。
原因	<ul style="list-style-type: none"> ・与薬マニュアルに沿った処方薬のセット、与薬が出来ていなかった。 ・ダブルチェックの職員はセット間違いを見逃していた。日付、区分、薬袋数の照らし合わせが出来ていなかった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・与薬者は日付、区分を確認せず、事前に盆の上に食前薬を準備していた。与薬介助、飲み込み確認をせず本人任せにしていた。 ※7：35に食前薬を服用していたが、本人の「飲んでいないと思う」と言った言葉を鵜呑みにし8：00に重複して与薬した。 ・薬のセット時に集中してセットできていなかった。
対策	<p>全スタッフが与薬マニュアルの読み合わせを行う。定期的に与薬マニュアルを確認し、マニュアルに沿った対応の統一を行う。</p> <p>※毎月のフロア会で与薬マニュアルの読み合わせを行う。</p> <p>※夜勤専門員には個別で与薬マニュアルの指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬のセット時にはセット者が集中してセットできるよう、スタッフ間で協力体制を整える。(セット：日勤者・ダブルチェック：遅C)
④発生日時 5月12日(月)0時22分 年齢88歳 女性 介護度1	
種別	転倒
内容	15:00頃「トイレに行きます。」とフロア自席より立ち上がる。職員はおやつ準備の為、フロアから離れた際に「転んじやった。」と声が聞こえ、確認するとフロア自席のすぐ傍で右側臥位になっているのを発見する。
原因	<p>自席から立ち上がる際にテーブルか椅子の脚に引っ掛かった可能性あり。</p> <p>(右外傷性硬膜下血腫により日頃より左下肢の動きにくさあり。普段より足が交差したような歩行である。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄の失敗の不安感と記憶障害によりトイレに行ったことを忘れてしまいトイレが頻回となっている。又職員の姿が見えないと不安になりトイレ回数が頻回になることもある。その為椅子からの立ち上がりの回数も増える。 ・靴のマジックテープが留めれていないことがある。
対策	<p>普段は歩行器を使用し安定した歩行が出来ているが、その日の体調や状態を観察し疲労感が見られる等、普段の様子と変わったことがあれば周知し対応を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しでも本人の不安の軽減が出来るよう頻回時にはさり気ない声かけや移動時と排泄動作の見守りを行う。 ・離床時は靴のマジックテープの部分がしっかり留めてあるか確認を行う。

(※対策は効果が確認できるまで検証を行い継続して実施。又介護計画書にて検証を行っていく。)

<待機者状況>

待機者（10名）新規申し込み 4月1件

<身体拘束について>

- 身体拘束の適正化に向けて取り組んでいる。身体拘束なし
センサーマット使用 みやこ村1名 れんげ村1名

次回令和7年度第2回運営推進会議 令和7年7月24日（木）10:00～ 開催予定